

# 7月29日(水) 第25回裁判

## 120名 傍聴席を満席にして 私たちの願いをアピールしよう 午前10時開廷 最後の裁判になりました

大阪地方裁判所の202号大法廷前  
伊藤事務局長、宮崎さんがいます。



6月25日、第24回裁判の報告集会

三〇万人署名を二〇〇九年秋までに

二〇〇五年八月、クボ  
タシヨツクのあと、トン  
ネルじん肺訴訟と西淀・  
ダイオキシン公害訴訟を  
していたメンバーや新規  
登録した新人弁護士がア  
スベスト被害の救済のた  
めに集まりました。現在  
二〇から六〇歳代の弁護  
団メンバー五十七名のう  
ち若い弁護士が4分の3  
を占めていて、この三年  
半の間に約八〇件の労災  
や新法認定を勝ち取り、  
難しい全国初の国賠や五  
件の対企業訴訟を遂行し  
ています。  
さて、泉南国賠は七月  
二十九日に証人尋問を終  
え、十一月十一日に結審  
を迎えることになり、来  
春には判決が出される見  
込みです。  
ここまでの弁論を通じ  
て、国側が戦前からアス  
ベスト被害を知っていた  
という点でも、被害を防  
止することができたのに有  
効な策を講じてこなかった  
という点でも、国側を追い  
詰めてきました。原告本人  
尋問は、毎回傍聴席でも弁  
護団席でもすすり泣きが聞  
こえ、理不尽な被害に対す  
る本心に説得力ある内容に  
なりました。  
二十九日は最後の本人尋  
問と泉南市民の会の柚岡一  
禎代表に対する証人尋問で  
す。証人尋問では、泉南の  
アスベスト被害の実態を、  
現物や写真・映像を使って  
余すことなく明らかにしま  
す。裁判終了後には、第二  
回目の署名を提出する予定



### 訴えま

二十九日裁判傍聴をはじめ  
引き続きご支援をお願いします

大阪じん肺アスベスト弁護団団長 芝原明夫

## 泉南勝たせる会ニュース

大阪泉南地域のアスベスト国家賠償訴訟を勝たせる会

第7号

2009. 7. 20

連絡先  
泉南地域の  
石綿被害と  
市民の会

Tel. 072-483-4981  
Fax. 072-484-0641

### 11月結審にむけ 10月3日に大集会 (予定)

午後2時 天満研修センターにて

十一月の結審にむけて、も  
う一度府民全体のとりくみに  
広げていくために十月三日  
(土) 午後二時 天満研修セ  
ンターで大きな集会を予定し  
ています。  
これまでの裁判を振り返る  
映像、構成劇、歌、証言など  
でだれでもわかる元気の出る  
企画とするよう準備を進めて  
います。

# 首都圏土建の期待とこの上ない贈り物に込めて 必ず大阪で、15万署名をやい遂げよう



建材メーカーの本社の多くは大阪にあると、アスベストの国賠を闘う首都圏土建組合から原告をはじめ二百名が、建材メーカー本社への要請行動に大挙して来阪しました。

全く不誠実なクボタ本社の対応が明らかにになり、改めて国の責任を認めさせることが建材メーカーの責任追及に決定的に重要となつています。

首都圏土建のみならずは、そのために先行する泉南の国賠裁判で勝利すること、何が決定的だと、何

と十六万以上の署名を届けてくださいました。(全体で二十五万五千筆余りの署名です)

十四日、それらの署名の目録が手渡されました。首都圏の取組は、本気で泉南の国賠闘争と連帯したものと実感しました。同時に、首都圏土建の皆さんの期待に込めて、少なくとも大阪で十五万の署名を集めることをはじめ、大阪で、その責任を果たす必要があることを改めて痛感しました。

**結審(11/11)まで最後の裁判です  
傍聴席を満席にしましょう**

午前だけでも、午後だけでもぜひ。傍聴に参加してください。



国賠を闘う首都圏土建組合二百名の原告・家族の「大坂行動」



「泉南アスベスト惨禍を国に問う(仮)」を出版予定

## 裁判の記録を残し今後のステップに

アスベスト被害と加害の原点を問うこの裁判のことを、もっともっと多くの人に知ってほしい。— そんな思いから、泉南アスベスト問題とは何なのか、どんな人が、どんな状況の中で、どんな被害に遭ったのか、わかりやすく伝える「本」を出版することにしました。内容は、①原告数名の手記+病気の解説(水嶋潔医師)、②泉南市民の会柚岡一禎代表の意見書、③宮本憲一先生の小論の3部構成です。9月10日、かもがわ出版から刊行予定です。来春の勝訴に向けての小さな小道具、大きな武器にしたいと思えます。乞うご期待!